

2023年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教科		科目		期間	担当者	
国語	国語総合	単位数： 1単位 [標準単位： 4単位]	年間	金子真奈美		
指導目標						
1. 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確にとらえ、内容を解釈する方法を学ぶ。						
2. 作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。						
3. 古典常識に基づき、的確に内容を解釈する力を養い、日本文化への関心を深める。						
スクーリング	全 28回	面接指導： 0回 講義： 28回	教科書	教育出版「国語総合」		
レポート	全 6回	添削指導： 6回 その他： 22回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期： 1回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/14	金	小説「ナイン」①		○	第1回(6/9)
2	4/21	金	小説「ナイン」②		○	
3	5/12	金	小説「ナイン」③		○	
4	5/19	金	小説「ナイン」④		○	
5	5/29	月	小説「ナイン」⑤		○	
6	6/2	金	小説「ナイン」⑥		○	第2回(6/23)
7	6/9	金	小説「ナイン」⑦		○	
8	6/23	金	小説「ナイン」まとめと試験対策		○	
9	6/30	金	期末試験		○	
10	7/3	月	試験返却		○	第3回(9/22)
11	9/1	金	小説「こころ」①		○	
12	9/8	金	小説「こころ」②		○	
13	9/15	金	小説「こころ」③		○	
14	9/22	金	小説「こころ」④		○	
15	10/6	金	小説「こころ」⑤		○	第4回(10/27)
16	10/13	金	小説「こころ」⑥		○	
17	10/20	金	小説「こころ」⑦		○	
18	10/27	金	小説「こころ」⑧		○	
19	11/10	金	古文「伊勢物語」より 芥川①		○	第5回(12/1)
20	11/24	金	古文「伊勢物語」より 芥川②		○	
21	12/1	金	古文「伊勢物語」より 芥川③		○	
22	12/8	金	中間試験		○	
23	12/15	金	試験返却		○	第6回(1/26)
24	1/12	金	随想「花のいざない」①		○	
25	1/19	金	随想「花のいざない」②		○	
26	1/26	金	随想「花のいざない」③		○	
27	2/9	金	期末試験		○	
28	2/16	金	試験返却		○	第7回(/)
29						

2023年度年間教育計画

面接指導施設：

教科		科目		期間	担当者	
社会		地理総合		単位数：2 単位 [標準単位：2 単位]	年間 福元佑紀	
指導目標						
1. 地理の学習をとおして自然的・社会的環境に適応し、そのなかで自己を成長させていく能力を育てる						
2. 地理的技能を身につけるとともに地理学習の有用性に気づき、自ら情報を収集し問題解決ができる力を身につける						
スクーリング	全 35 回	面接指導： 回 講義： 35回	教科書	高等学校 新地理総合（帝国書院）		
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 3回	学習図書	新詳高等地図（帝国書院）		
定期試験	あり	学 期： 前期1回、後期2回	副教材			
定期試験の 評価割合	80 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/14	金	授業の進め方、試験・評価について		○	第1回(6/9)
2	4/21	金	地球上の位置と私たちの生活		○	
3	5/19	金	時差と私たちの生活		○	
4	5/26	金	地球儀と地図		○	
5	6/2	金	身の回りの地図		○	
6	6/9	金	現代世界の国家		○	第2回(7/7)
7	6/16	金	日本の位置や領域		○	
8	6/23	金	国家間の結び付き		○	
9	6/30	金	貿易によって結び付く世界		○	
10	7/7	金	前期試験		○	第3回(7/7) ※ノート提出
11	7/14	金	試験返却・解説		○	
12	9/1	金	生活文化を考察する方法		○	
13	9/8	金	大地形と人々の生活		○	第4回(9/15)
14	9/15	金	変動帯と人々の生活		○	
15	9/22	金	河川がつくる地形と人々の生活		○	
16	9/29	金	気温・降水と人々の生活		○	
17	10/6	金	大気循環と人々の生活		○	
18	10/13	金	世界の植生と気候区分		○	第5回(10/20)
19	10/20	金	熱帯の生活		○	
20	10/27	金	乾燥帯の生活		○	
21	11/10	金	温帯の生活		○	
22	11/17	金	亜寒帯・寒帯の生活		○	第6回(12/1)
23	11/24	金	モンスーンの影響を受ける地域での生活		○	
24	12/1	金	後期中間試験		○	
25	12/8	金	試験返却・解説		○	第7回(1/19)
26	12/15	金	世界の言語と人々の生活文化		○	
27	1/12	金	世界の宗教と人々の生活文化		○	
28	1/19	金	イスラーム		○	第8回(2/16)
29	1/26	金	ヒンドゥー教		○	
30	2/9	金	歴史的背景が人々の生活に与える影響		○	※ノート提出 第9回(2/16)

31	2/16	金	進級試験		○	
32	3/8	金	試験返却・解説		○	
33	3/15	金	世界の産業と人々の生活		○	
34	特プロ	金	地球的課題と国際協力①		○	
35	特プロ	金	地球的課題と国際協力②		○	

2023年度年間教育計画

面接指導施設：

教科	科目		期間	担当者		
社会	公共	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	福元佑紀		
指導目標 「社会的な見方・考え方」を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、公民としての資質・能力を育成する						
スクーリング	全 35 回	面接指導： 回 講義： 回	教科書	高等学校 新公共（第一学習社）		
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 3回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期： 前期1回、後期2回	副教材			
定期試験の 評価割合	80 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/19	水	社会に生きる私たち		○	第1回(6/7)
2	4/26	水	社会に生きる私たち		○	
3	5/17	水	伝統文化とのかかわり		○	
4	5/24	水	自立した主体をめざして		○	
5	5/31	水	人間と社会のあり方についての見方・考え方①		○	
6	6/7	水	人間と社会のあり方についての見方・考え方②		○	第2回(7/5)
7	6/14	水	人間の尊厳と平等、個人の尊重		○	
8	6/21	水	民主主義と法の支配①		○	
9	6/28	水	民主主義と法の支配②		○	第3回(7/5) ※ノート提出 第4回(9/13)
10	7/5	水	前期試験		○	
11	7/12	水	試験返却・解説		○	
12	7/19	水	私たちと法・法と基本的人権		○	第5回(10/18)
13	9/6	水	平等に生きる権利と法		○	
14	9/13	水	法をよりよいものにするための権利		○	
15	9/20	水	契約と消費者の権利・責任		○	第6回(11/29)
16	9/27	水	司法参加の意義①		○	
17	10/4	水	司法参加の意義②		○	
18	10/11	水	私たちと選挙		○	第6回(12/6) ※ノート提出 第7回(1/17)
19	10/18	水	国会と立法		○	
20	10/25	水	内閣と行政		○	
21	11/1	水	国家と国際法		○	第8回(2/21) ※ノート提出 第9回(2/21)
22	11/8	水	今日の国際社会		○	
23	11/22	水	私たちと経済		○	
24	11/29	水	労働者と権利		○	第8回(2/21) ※ノート提出 第9回(2/21)
25	12/6	水	後期中間		○	
26	12/13	水	試験返却・解説		○	
27	1/10	水	日本経済のこれまでとこれから		○	第8回(2/21) ※ノート提出 第9回(2/21)
28	1/17	水	現代の企業		○	
29	1/24	水	日本の農林水産業		○	
30	2/14	水	市場経済の機能と限界		○	第9回(2/21)
31	2/21	水	進級試験		○	

32	2/28	水	試験返却・解説		○	
33	3/6	水	地球環境問題		○	
34	3/13	水	資源・エネルギー問題		○	
35	特プロ		国際社会のこれから		○	

2023年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教科	科目		期間	担当者		
地理歴史	世界史A (Rクラス)	単位数： 2単位 [標準単位： 2単位]	年間	田村 基成		
指導目標						
近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
スクーリング	全 30 回	面接指導： 8回 講義： 21回	教科書	高等学校改訂版世界史A 第一学習社		
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期： 1回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		A4フラットファイルを用意		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	オリエンテーション		○	5/23
2	4/25	火	先史の世界	○		
3	5/9	火	古代オリエント		○	
4	5/16	火	古代オリエント	○		6/6
5	5/23	火	古代ギリシア		○	
6	5/30	火	古代ローマ	○		7/4
7	6/6	火	キリスト教の成立		○	
8	6/13	火	キリスト教の成立		○	
9	6/20	火	ゲルマン民族の大移動		○	
10	6/27	火	フランク王国の成立		○	10/3
11	7/4	火	前期期末試験		○	
12	9/5	火	十字軍の遠征	○		
13	9/12	火	ルネサンス		○	
14	9/19	火	宗教改革	○		10/17
15	10/3	火	絶対王政		○	
16	10/10	火	産業革命	○		10/31
17	10/17	火	清教徒革命・名誉革命		○	
18	10/24	火	アメリカ独立革命		○	
19	10/31	火	フランス革命		○	12/5
20	11/7	火	フランス革命		○	
21	11/21	火	ナポレオン		○	
22	11/28	火	ナポレオン		○	
23	12/5	火	後期中間試験		○	2/13
24	12/12	火	ウィーン体制	○		
25	12/19	火	イタリア・ドイツの統一		○	
26	1/16	火	七月革命と二月革命	○		
27	1/23	火	第一次世界大戦		○	
28	2/13	火	後期期末試験		○	
29	2/20	火	答案返却、1年間のまとめ		○	

2023年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教科		科目		期間	担当者	
数学	数学I	単位数： 2単位 [標準単位： 3単位]		年間	糸賀雅史	
指導目標						
1. 整式の基本的な性質を理解						
2. 自然数、整数、有理数、無理数、実数の理解と平方根を含む数の計算						
3. 一次不等式と二次方程式の理解						
スクーリング	全 31回	面接指導： 8回 講義： 23回	教科書			
レポート	全 8回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期： 前期1回 後期2回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	自然数の四則演算、約数と倍数	○		第1回(5/16)
2	4/25	火	計算順序、分数・小数の四則演算		○	
3	5/9	火	正負の数の四則演算		○	
4	5/16	火	単項式と多項式	○		第2回(6/6)
5	5/23	火	多項式の整理		○	
6	5/30	火	多項式の加法・減法	○		
7	6/6	火	多項式の乗法	○		第3回(6/27)
8	6/13	火	展開の公式その1		○	
9	6/20	火	展開の公式その2		○	
10	6/27	火	整式の演習		○	第4回(9/26)
11	7/4	火	前期期末試験		○	
12	7/11	火	因数分解1 共通因数のくくりだし	○		
13	7/18	火	因数分解2 因数分解の公式		○	第4回(9/26)
14	9/5	火	因数分解3 たすきがけ1		○	
15	9/12	火	因数分解4 たすきがけ2		○	
16	9/19	火	様々な展開と因数分解		○	第5回(11/7)
17	9/26	火	因数分解の演習		○	
18	10/3	火	平方根	○		
19	10/10	火	根号を含む式の計算1		○	第5回(11/7)
20	10/17	火	根号を含む式の計算2		○	
21	10/24	火	分母の有理化		○	
22	10/31	火	実数	○		第6回(11/28)
23	11/7	火	文字式への代入		○	
24	11/21	火	1次方程式・連立方程式		○	
25	11/28	火	因数分解・根号を含む式・方程式の復習		○	第7回(1/23)
26	12/5	火	後期中間試験		○	
27	12/12	火	不等式	○		
28	12/19	火	不等式の性質		○	第7回(1/23)
29	1/16	火	不等式の解法		○	

30	1/23	火	方程式と不等式の復習		○	
31	2/13	火	後期期末試験		○	
32	2/20	火	2次方程式の解法		○	第8回(3/12)
33	3/5	火	不等式の利用・連立不等式		○	
34	3/12	火	総復習		○	

2023年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教科		科目		期間	担当者	
数学	数学I	単位数： 2単位 [標準単位： 3単位]		年間	糸賀雅史	
指導目標						
1. 関数への理解						
2. 二次関数の性質の理解と $y = ax^2 + bx + c$ のグラフの作成						
3. 集合の理解と命題の理解、命題と逆、裏、対偶の理解						
スクーリング	全 31回	面接指導： 8回 講義： 23回	教科書	数研出版 新高校の数学I		
レポート	全 10回	添削指導： 6回 その他： 4回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期： 前期1回 後期2回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	80%	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	実数の四則演算		○	第1回(5/9)
2	4/25	火	整式の展開と因数分解	○		
3	5/9	火	関数と1次関数	○		第2回(5/30)
4	5/16	火	1次関数と2次関数		○	
5	5/23	火	$y = x^2$ 、 $y = ax^2$ のグラフ		○	
6	5/30	火	$y = ax^2 + q$ のグラフ		○	第3回(6/20)
7	6/6	火	$y = a(x - p)^2$ のグラフ		○	
8	6/13	火	$y = a(x - p)^2 + q$ のグラフ	○		第4回(9/5)
9	6/20	火	$y = ax^2 + bx + c$ の変形1	○		
10	6/27	火	2次関数の復習		○	
11	7/4	火	前期期末試験		○	
12	7/11	火	$y = ax^2 + bx + c$ の変形2		○	
13	7/18	火	$y = ax^2 + bx + c$ のグラフ		○	第5回(9/19)
14	9/5	火	2次関数の最大値・最小値	○		
15	9/12	火	限られた範囲での最大値・最小値		○	第6回(10/17)
16	9/19	火	2次方程式の解法		○	
17	9/26	火	2次関数のグラフと2次方程式	○		
18	10/3	火	2次方程式と2次不等式1		○	
19	10/10	火	2次方程式と2次不等式2		○	第7回(11/7)
20	10/17	火	様々な2次不等式1		○	
21	10/24	火	様々な2次不等式2		○	
22	10/31	火	2次関数の演習		○	第8回(11/28)
23	11/7	火	集合、共通部分と和集合	○		
24	11/21	火	命題と真偽		○	第9回(1/16)
25	11/28	火	2次関数と集合の復習		○	
26	12/5	火	後期中間試験		○	
27	12/12	火	必要条件と十分条件、命題と集合	○		第9回(1/16)
28	12/19	火	逆と裏と対偶		○	
29	1/16	火	集合と命題の演習		○	

30	1/23	火	集合と命題と実数の四則演算の復習		○	
31	2/13	火	後期期末試験		○	
32	2/20	火	比と比例式の復習		○	第10回(3/112)
33	3/5	火	百分率の復習		○	
34	3/12	火	総復習		○	

2023年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教科		科目		期間	担当者	
数学	数学I	単位数： 2単位 [標準単位： 3単位]		年間	糸賀雅史	
指導目標						
1. データの数理的な処理方法の理解						
2. 三角比の意味の理解						
3. 正弦定理・余弦定理の理解と図形の計量への活用						
スクーリング	全 26 回	面接指導： 8回 講義： 18回	教科書	東京書籍 新数学I		
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 前期1回 後期2回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	実数の演算の復習と代表値の復習		○	第1回(5/16)
2	4/25	火	四分位数	○		
3	5/9	火	分散と標準偏差	○		
4	5/16	火	データ分析実習		○	第2回(6/13)
5	5/23	火	相関関係	○		
6	5/30	火	相関係数		○	
7	6/6	火	データ分析の復習		○	第3回(6/27)
8	6/13	火	比と比例式		○	
9	6/20	火	相似な三角形、三平方の定理の復習		○	
10	6/27	火	データ分析、比、相似、三平方の定理の演習		○	
11	7/4	火	前期期末試験			
12	9/5	火	タンジェント	○		第4回(9/19)
13	9/12	火	サインとコサイン	○		
14	9/19	火	三角比の利用1	○		第5回(10/10)
15	10/3	火	三角比の利用2		○	
16	10/10	火	三角比の相互関係		○	第6回(10/31)
17	10/17	火	三角比の演習		○	
18	10/24	火	三角比と三角形の面積		○	
19	10/31	火	比と三角比の復習		○	
20	11/7	火	正弦定理	○		第7回(12/5)
21	11/21	火	余弦定理	○		
22	11/28	火	比と三角比の復習		○	
23	12/5	火	後期中間試験		○	第8回(2/6)
24	12/12	火	三角比と座標		○	
25	12/19	火	鈍角の三角比の相互関係、三角比と計量		○	
26	1/16	火	空間図形と三角比		○	
27	1/23	火	三角比の復習		○	
28	2/13	火	後期期末試験		○	
29	2/20	火	総復習		○	

教科	科目		期間	担当者
理科	科学と人間生活		単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間 飯塚 浩
指導目標				
1. 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解し、身の回りにある事物や現象に興味を持てるようになる。				
2. 将来にわたって自然を大切にする気持ちや科学技術に対する興味・関心を持ち続けることの大切さを理解する。				
スクーリング	全 34 回	面接指導： 16 回 講義： 9 回	教科書	第一学習者 高等学校 科学と人間生活
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期期末： 1 回 後 期： 2 回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	ガイダンス 序章 科学技術の発展	○		第1回 (5/23) p17-p49
2	4/25	火	化学分野 中学校の振り返り		○	
3	5/9	火	第2節衣料と食品 1身近な繊維 2繊維の構造と染色	○		
4	5/16	火	3天然繊維 4化学繊維	○		
5	5/23	火	5食品の中の主な栄養素 6炭水化物(1)	○		第2回 (6/20) p50-p61
6	5/30	火	レポート返却 7炭水化物(2)			
7	6/6	火	8タンパク質 9脂質	○		
8	6/13	火	10その他の栄養素	○		
9	6/20	火	第Ⅱ章生命の科学 第1節人の生命現象 1タンパク質の働きと構造 2遺伝子とDNA	○		第3回 (9/5) p68-p73 p84-p87
10	6/27	火	レポート返却 前期の振り返り			
11	7/4	火	前期期末試験			
12	7/11	火	試験の返却 3タンパク質の合成	○		
13	7/18	火	8ヒトの視覚(1) 9ヒトの視覚(2)		○	第4回 (10/3) p112-p127
14	9/5	火	第Ⅲ章熱や光の科学 第1節熱の性質とその利用 1温度と熱運動 2熱容量と比熱(1)	○		
15	9/12	火	レポート返却 3熱容量と比熱(2)			
16	9/19	火	4熱の伝わり方 5仕事や電流と熱の発生	○		
17	9/26	火	6エネルギーの移り変わり 7エネルギー資源の有効活用	○		第5回 (11/7) p148-p165
18	10/3	火	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 第1節自然景観と自然災害 1日本列島のなりたち	○		
19	10/10	火	レポート返却 2火山活動と地表の変化 3火山災害と防災			
20	10/17	火	4地震活動と地表変化 5地震災害と防災		○	
21	10/24	火	6水の働きと地表の変化(1) 7水の働きと地表の変化(2)	○		
22	10/31	火	8気象災害と防災		○	

23	11/7	火	第2節太陽と地球 1太陽と太陽系	○		第6回 (1/16) p168-p179
24	11/21	火	レポート返却 2太陽系を構成する天体			
25	11/28	火	後期中間の振り返り		○	
26	12/5	火	後期中間試験			
27	12/12	火	試験の返却 3太陽と人間生活(1)		○	
28	12/19	火	4太陽と人間生活(2) 5天体の動き		○	
29	1/16	火	6太陽と月の動き(1)	○		
30	1/23	火	レポート返却 後期期末の振り返り			
31	2/13	火	後期期末試験			
32	2/20	火	試験の返却 7太陽と月の動き(2)		○	
33	3/5	火	8太陽の動きと太陽暦	○		
34	3/12	火	科学と人間生活の振り返り		○	

2023年度 年間教育計画（シラバス）

面接指導施設：国際製菓専門学校

教科	科目		期間	担当者
理科	生物基礎	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	飯塚 浩
指導目標				
1. 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身につける。				
2. 将来にわたって自然を大切にする気持ちや科学技術に対する興味・関心をもち続けることの大切さを理解する。				
スクーリング	全 29 回	面接指導： 回 講義： 回	教科書	数研出版 改訂版 新編 生物基礎
レポート	全 6 回	添削指導： 回 その他： 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期期末： 1 回 後 期： 2 回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合		評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
		火	ガイダンス 第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 ①生物の多様性	○		第1回 (5/23) p16-p29
		火	②生物の共通性 ③生物の多様性と共通性の由来 ④生物の共通構造－細胞	○		
		火	第2節 エネルギーと代謝 ①生命活動とエネルギー ②代謝と酵素	○		
		火	第3節 光合成と呼吸 ①光合成 ②呼吸	○		第2回 (5/30) p32-p37
		火	③光合成と呼吸によるエネルギーの流れ ④ミトコンドリアと葉緑体の起源	○		
		火	レポート返却 第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA ①遺伝情報を担う物質			第3回 (6/20) p48-p57
		火	レポート返却 DNAの検出			
		火	第2節 遺伝情報の発見 ①遺伝情報とタンパク質 ②タンパク質の合成	○		
		火	前期の振り返り		○	
		火	レポート返却			
		火	前期期末試験			
		火	第3章 生物の体内環境とその維持 第1節 体内環境としての体液 ①動物のからだと恒常性	○		第4回 (10/3) p74-p80
		火	②脊椎動物の体液と循環	○		
		火	③血液凝固	○		
		火	第2節 腎臓と肝臓による調節 ①腎臓と肝臓の役割	○		第5回 (11/7) p81-p91
		火	②腎臓の構造とはたらき	○		
		火	レポート返却 ③肝臓の構造とはたらき			
		火	第3節 神経とホルモンによる調節 ①自律神経系と内分泌系	○		
		火	②自律神経による調節	○		第6回 (1/16) p92-p102
		火	③内分泌系による調節	○		
		火	レポート返却 ④自律神経系と内分泌系による調節			
		火	後期中間振り返り		○	
		火	後期中間試験			
		火	第4節 免疫 ①からだを守るしくみ	○		第6回 (1/16) p92-p102
		火	②自然免疫	○		

		火	後期期末振り返り		○	
		火	レポート返却			
		火	後期期末試験			
		火	試験返し		○	

教科	科目		期間	担当者
保健体育	体育	単位数： 3単位	年間	蓮見 恵太
指導目標 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てる。健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
スクーリング	全 22 回	面接指導： 22 回 講義： 0 回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 0 回	学習 図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学期： 0 回		
定期試験の 評価割合	なし	評定算出方法 100法5段階評定	副教材	なし

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/24	月	ガイダンス 体づくり運動	○		
2	5/8	月	体づくり運動・バスケットボール 個人技能習得	○		第1回 (6/5)
3	6/5	月	バスケットボール 個人技能習得	○		第2回 (6/19)
4	6/19	月	バスケットボール 個人技能習得	○		
5	9/11	月	バスケットボール 個人・対人技能習得	○		
6	9/25	月	バスケットボール 個人・対人技能習得	○		第3回 (10/23)
7	10/23	月	バスケットボール 実技テスト	○		第4回 (11/6)
8	11/6	月	バスケットボール 実技テスト	○		第5回 (11/20)
9	11/20	月	バスケットボール 対人技能習得	○		第6回 (12/4)
10	12/4	月	バスケットボール 対人技能習得	○		
11	1/15	月	バスケットボール 対人技能習得	○		

※上記のほか、体育大会実施予定 (3時間)

教科	科目		期間	担当者
保健体育	体育	単位数： 2単位	年間	蓮見 恵太
指導目標 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てる。健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
スクーリング	全 回	面接指導： 18回 講義： 0回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全 6回	添削指導： 6回 その他： 0回	学習 図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学期： 0回		
定期試験の 評価割合	なし	評定算出方法 法5段階評定	副教材	なし

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート 締切期日
1	4	月	ガイダンス 体づくり運動	○		
2	5	月	バスケットボール 個人技能習得	○		第1回(5)
3	5	月	バスケットボール 個人技能習得	○		第2回(6)
4	6	月	バスケットボール 個人・対人技能習得	○		第3回(6)
5	6	月	バスケットボール 実技テスト	○		
6	9 4	月	バスケットボール 個人・対人技能習得	○		第4回(2)
7	2	月	バスケットボール 実技テスト	○		第5回()
8		月	バスケットボール 対人技能習得	○		第6回()
9		月	バスケットボール 対人技能習得	○		

※上記のほか、体育大会実施予定(3時間)

教科	科目		期間	担当者
保健体育	体育	単位数： 2単位	年間	蓮見 恵太
指導目標 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育てる。健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
スクーリング	全 回	面接指導： 18回 講義： 0回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全 6回	添削指導： 6回 その他： 0回	学習 図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学期： 0回		
定期試験の 評価割合	なし	評定算出方法 法5段階評定	副教材	なし

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート 締切期日
1	4	月	ガイダンス 体づくり運動	○		
2	5 8	月	バスケットボール 個人技能習得	○		第1回(5)
3	5	月	バスケットボール 個人技能習得	○		第2回(6 5)
4	6 5	月	バスケットボール 個人・対人技能習得	○		第3回(6)
5	6	月	バスケットボール 実技テスト	○		
6	9	月	バスケットボール 個人・対人技能習得	○		第4回()
7		月	バスケットボール 実技テスト	○		第5回(6)
8	6	月	バスケットボール 対人技能習得	○		第6回()
9		月	バスケットボール 対人技能習得	○		

※上記のほか、体育大会実施予定(3時間)

教科	科目		期間	担当者
保健体育	保健	単位数： 単位	年間	蓮見恵太

指導目標

個人及び社会生活における健康・安全について自分事としてとらえ、理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

スクーリング	全 回	面接指導： 回 講義： 回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全 回	添削指導： 回 その他： 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	%	評定算出方法 法 段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
		月	1 1 健康の考え方と成り立ち	○		
			1 2 私たちの健康のすがた	○		
		月	1 3 生活習慣病の予防と回復		○	
			1 4 がんの原因と予防		○	
		月	1 5 がんの治療と回復		○	
			1 6 運動と健康		○	
		月	1 7 食事と健康		○	
			1 8 休養・睡眠と健康		○	
		月	※春学期 期末試験		○	
			秋学期 期末試験までの範囲確認と予習		○	
		月	1 9 喫煙と健康		○	
			※春学期 期末試験 返却		○	
		月	1 飲酒と健康	○		
			1 薬物乱用と健康	○		
		月	1 精神疾患の特徴 ・ 1 精神疾患の予防		○	
			1 精神疾患からの回復		○	
		月	1 現代の感染症		○	
			1 感染症の予防		○	
		月	1 性感染症・エイズとその予防		○	
			1-18 健康に関する意思決定・行動選択 ・ 1-19 健康に関する環境づくり		○	
		月	2 1 事故の現状と発生要因		○	
			2 2 安全な社会の形成		○	
		月	2 3 交通における安全		○	
			※秋学期 期末試験		○	

2023年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教科		科目		期間	担当者	
外国語		英語コミュニケーションI (1年次)	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	井坂 朝子	
指導目標						
1. 英語を通して、言語や文化に対する理解を深める。						
2. 英語に対する苦手意識をなくし、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。						
3. 平易な文のリスニング、スピーキング、ライティングの基礎を固める。						
スクーリング	全 34 回	面接指導： 16回 講義： 15回	教科書	All Abroad! English Communication I (東京書籍)		
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期：前期 1回 後期 2回	副教材	授業プリント (配布)		
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100点法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	ガイダンス	○		第1回(5/16)
2	4/25	火	アルファベット筆記体/Warm-up1		○	
3	5/9	火	Warm-up1・2		○	
4	5/16	火	Warm-up2・3		○	
5	5/23	火	Pre-Lesson (1)	○		第2回(6/13)
6	5/30	火	Pre-Lesson2 (2)		○	
7	6/6	火	Pre-Lesson2 (1)	○		
8	6/13	火	Pre-Lesson2 (2)		○	第3回(6/27)
9	6/20	火	Lesson1 (1)	○		
10	6/27	火	Lesson1 (2)		○	
11	7/4	火	テスト			
12	7/11	火	テスト返却	○		
13	7/18	火	Lesson1 (3)	○		第4回(9/12)
14	9/5	火	Lesson1 (4)		○	
15	9/12	火	Lesson1 まとめ	○		第5回(9/26)
16	9/19	火	Lesson2 (1)	○		
17	9/26	火	Lesson2 (2)		○	第6回(10/17)
18	10/3	火	Lesson2 (3)	○		
19	10/10	火	Lesson2 (4)		○	
20	10/17	火	Lesson2 まとめ	○		第7回(11/21)
21	10/24	火	Lesson3 (1)		○	
22	10/31	火	Lesson3 (2)	○		
23	11/7	火	Lesson3 (3)		○	
24	11/21	火	Lesson3 (4)		○	第8回(1/16)
25	11/28	火	テスト対策	○		
26	12/5	火	テスト			
27	12/12	火	テスト返却	○		
28	12/19	火	Lesson3 まとめ	○		第8回(1/16)
29	1/16	火	Communication2 道案内		○	
30	1/23	火	テスト対策	○		

31	2/13	火	テスト			
32	2/20	火	テスト返却	○		
33	3/5	火	Activity ①		○	
34	3/12	火	Activity ②		○	

2023年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教科	科目		期間	担当者
外国語	英語コミュニケーションI (2年次)	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	井坂 朝子
指導目標				
1. 国内外の自然、文化に対する理解を深める。				
2. 教科書レベルの平易な文を聞き取り、理解できるようにする。				
3. 教科書レベルの平易な文で自分の意思を伝えられるようにする。				
スクーリング	全 34 回	面接指導： 16回 講義： 15回	教科書	All Abroad! English Communication I (東京書籍)
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期：前期 1回 後期 2回	副教材	なし
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100点法5段階評 定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	ガイダンス / アルファベット筆記体	○		第1回(5/9)
2	4/25	火	Lesson4 (1)		○	
3	5/9	火	Lesson4 (2)	○		
4	5/16	火	Lesson4 (3)		○	第2回(5/30)
5	5/23	火	Lesson4 (4)		○	
6	5/30	火	Lesson4 まとめ 不定詞	○		
7	6/6	火	Lesson5 (1)	○		第3回(6/20)
8	6/13	火	Lesson5 (2)		○	
9	6/20	火	Lesson5 (3)		○	
10	6/27	火	テスト対策	○		
11	7/4	火	テスト			
12	7/11	火	テスト返却	○		
13	7/18	火	Lesson5 (4)	○		第4回(9/12)
14	9/5	火	Lesson5 (5)		○	
15	9/12	火	Lesson5 まとめ 動名詞	○		
16	9/19	火	Lesson6 (1)		○	第5回(10/3)
17	9/26	火	Lesson6 (2)		○	
18	10/3	火	Lesson6 (3)	○		
19	10/10	火	Lesson6 (4)		○	第6回(10/24)
20	10/17	火	Lesson6 (5)		○	
21	10/24	火	Lesson6 まとめ 受け身	○		
22	10/31	火	Lesson7 (1)		○	第7回(11/21)
23	11/7	火	Lesson7 (2)		○	
24	11/21	火	Lesson7 (3)		○	
25	11/28	火	テスト対策	○		
26	12/5	火	テスト			
27	12/12	火	テスト返却・Lesson7 (4)	○		第8回(1/16)
28	12/19	火	Lesson7 (5)		○	
29	1/16	火	Communication3 乗換案内		○	
30	1/23	火	テスト対策	○		

31	2/13	火	テスト			
32	2/20	火	テスト返却	○		
33	3/5	火	Activity①	○		
34	3/12	火	Activity②	○		

教科	科目		期間	担当者		
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ (3年次)	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	井坂 朝子		
指導目標						
1. 英文の基本構造を理解し、意味のまとまりで大意をつかめるようにする。						
2. 基礎的文法事項の習得により、自分の考えを、感情を伝えられるようにする。						
3. 世界で起きている事象に目を向け、幅広い視野を持たせる。						
スクーリング	全 29 回	面接指導： 16回 講義： 10回	教科書	All Abroad! English Communication I (東京書籍)		
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期：前期 1回 後期 2回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	70%	評定算出方法 100点法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	ガイダンス / Lesson 8 (1)	○		第1回(5/9)
2	4/25	火	Lesson 8 (2)	○		
3	5/9	火	Lesson 8 (3)		○	
4	5/16	火	Lesson 8 (4)	○		第2回(5/23)
5	5/23	火	Lesson 8 (5)		○	
6	5/30	火	Lesson 9 (1)	○		第3回(6/20)
7	6/6	火	Lesson 9 (2)		○	
8	6/13	火	Lesson 9 (3)		○	
9	6/20	火	Lesson 9 (4)		○	
10	6/27	火	テスト対策	○		
11	7/4	火	テスト			
12	9/5	火	テスト返却	○		
13	9/12	火	Lesson 9 (5)		○	第4回(9/19)
14	9/19	火	Lesson 9 まとめ	○		
15	10/3	火	Lesson10 (1)	○		第5回(10/10)
16	10/10	火	Lesson10 (2)		○	
17	10/17	火	Lesson10 (3)		○	第6回(10/24)
18	10/24	火	Lesson10 (4)	○		
19	10/31	火	Lesson10 (5)		○	第7回(11/21)
20	11/7	火	Lesson10 (6)		○	
21	11/21	火	Lesson10 まとめ	○		
22	11/28	火	テスト対策	○		
23	12/5	火	テスト			
24	12/12	火	テスト返却	○		
25	12/19	火	Reading2 Alone (1)	○		第8回(1/23)
26	1/16	火	Reading2 Alone (2)	○		
27	1/23	火	Reading2 Alone (3)	○		
28	2/13	火	テスト			
29	2/20	火	テスト返却	○		
30						

2023年度年間教育計画

面接指導施設：

教科	科目		期間	担当者		
家庭科	家庭基礎	単位数：2 単位 [標準単位：2 単位]	年間	庄司 和子		
指導目標						
1. 人の一生と家族・家庭及び衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を習得させ、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる						
2. 生活を創造する力（生活マネジメント力）、意思決定の方法を身につける。						
3. 自分らしく生きるためのライフスタイルを考える。						
スクーリング	全 35 回	面接指導： 8 回 講義： 26 回	教科書	Creative Living		
レポート	全 8 回	添削指導： 6回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 1回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	80 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1・2	4/17	月	第1章 生活のマネジメント ライフステージを考える		2	第1回 (5/30)
3・4	5/15		意思決定とは		2	
5・6	5/29		第2章 青年期の課題と自立 発達課題について		2	
7・8	6/12		第3章 家族・家庭生活のマネジメント 家族とは		2	第2回 (6/27)
9*10	6/26		法律から見る家族・家庭		2	
11*12	7/3		青年期と自立		2	第3回 (7/20)
13*14	7/10		定期試験 I (前期定期試験)		2	第4回(9/21)
15*16			夏季特別プログラム		2	
17*18	9/4		4章 子どもの生活と子育てのマネジメント		2	
19*20	10/2		第6章 共生社会をつくる		2	第5回(10/19)
21*22	10/16		第8章 経済社会のマネジメント		2	第6回 (11/20)
23*24	11/13		後期中間試験		2	
25*26	11/27		学園祭展示用作品の製作		2	
27*28	1/22		学園祭展示用作品の製作		2	第8回 (2/27)
29*30	2/19		第7章 持続可能な社会 後期期末試験		2	

2023 年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教 科		科 目		期間	担当者	
芸術		美術		単位数： 2 単位 [標準単位： 2 単位]	年間	本多 優貴
指導目標						
1. 美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようにする。						
2. 美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。						
3. 主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。作品を作り上げる喜びを味わう。						
スクーリング	全14回	面接指導： 6回 講義： 8回	教科書	光村書店 美術 I		
レポート	全6回	添削指導： 6回 その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	なし	学 期：回	副教材	なし		
定期試験評価割合	%		評定	100点法5段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/26	水	オリエンテーション		○	第1回(6/21)
2	4/26	水	オリエンテーション、身近なものを描く		○	
3	5/24	水	身近なものを描く		○	
4	5/24	水	身近なものを描く		○	
5	6/14	水	身近なものを描く	○		
6	6/14	水	身近なものを描く	○		第2回(7/5)
7	6/21	水	色彩		○	
8	6/21	水	色彩		○	
9	7/5	水	色彩	○		
10	7/5	水	色彩	○		第3回(10/11)
11	9/13	水	コラージュ		○	
12	9/13	水	コラージュ		○	
13	9/20	水	コラージュ	○		
14	9/20	水	コラージュ	○		第4回(11/22)
15	10/11	水	切り抜きシルクスクリーン		○	
16	10/11	水	切り抜きシルクスクリーン		○	
17	10/25	水	切り抜きシルクスクリーン		○	
18	10/25	水	切り抜きシルクスクリーン		○	第5回(12/13)
19	11/8	水	切り抜きシルクスクリーン	○		
20	11/8	水	切り抜きシルクスクリーン	○		
21	11/22	水	抽象表現		○	
22	11/22	水	抽象表現		○	第6回(1/10)
23	12/6	水	抽象表現	○		
24	12/6	水	抽象表現	○		
25	12/13	水	紙立体		○	
26	12/13	水	紙立体		○	第6回(1/10)
27	1/10	水	紙立体	○		
28	1/10	水	紙立体	○		

2023年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教科		科目		期間	担当者	
情報	社会と情報	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]		年間	糸賀雅史	
指導目標						
1. 情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響の理解						
2. 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現し、効果的にコミュニケーションを行う能力の育成						
3. 情報社会に積極的に参画する態度の育成						
スクーリング	全 26 回	面接指導： 8回 講義： 18回	教科書	実教出版 高校社会と情報新訂版		
レポート	全 10 回	添削指導： 6回 その他： 4回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期：前期1回 後期2回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/18	火	インターネットと情報社会			第1回(5/9)
2	4/25	火	SNSと個人情報			
3	5/9	火	サイバー犯罪とセキュリティ			第2回(5/23)
4	5/16	火	コンピュータウイルス			
5	5/23	火	ビジネスにおける情報化			第3回(6/6)
6	5/30	火	ワントゥーワンマーケティングの事例			
7	6/6	火	知的財産権			第4回(6/27)
8	6/13	火	著作財産権			
9	6/20	火	著作者人格権・著作隣接権			第5回(9/19)
10	6/27	火	コンピュータの仕組み			
11	7/4	火	前期期末試験			
12	9/5	火	アナログとデジタル			第6回(10/10)
13	9/12	火	ビジュアルプログラミング			
14	9/19	火	2進数と16進数1			第7回(10/31)
15	10/3	火	2進数と16進数2			
16	10/10	火	文字・音声・画像の表現1			第8回(11/28)
17	10/17	火	文字・音声・画像の表現2			
18	10/24	火	文字・音声・画像の表現3			
19	10/31	火	圧縮			第9回(1/16)
20	11/7	火	プロトコル			
21	11/21	火	TCP/IP			
22	11/28	火	メディアリテラシー			第10回(2/27)
23	12/5	火	後期中間試験			
24	12/12	火	コミュニケーションとメディア			
25	12/19	火	情報化社会の諸問題			第10回(2/27)
26	1/16	火	KJ法1			
27	1/23	火	KJ法2			
28	2/13	火	後期期末試験			
29	2/20	火	情報検索の様々な手法			

2023年度年間教育計画

面接指導施設：国際製菓専門学校

教科	科目		期間	担当者		
地理歴史	高校現代文明論	単位数： 2単位 [標準単位： 2単位]	年間	田村 基成		
指導目標 東海大学の建学の精神に基づき、思想を培い、希望を星につなげることを目的とする。						
スクーリング	全 10 回	面接指導： 4回 講義： 6回	教科書	新版 高校現代文明論		
レポート	全 6 回	添削指導： 6回 その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	なし	学 期： 0回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合		評定算出方法 100法5段階評定		A4フラットファイルを用意		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	5/9	火	松前重義、名利なき証言①		○	5/23
2	5/23	火	松前重義、名利なき証言②		○	
3	6/20	火	ロシアのウクライナ侵攻について考える	○		7/4
4	7/4	火	人口知能 AI について考える		○	
5	9/26	火	校長講話 (予定)	○		9/26
6	10/10	火	SDGS について考える		○	10/10
7	11/21	火	職業人として① (プロフェッショナル仕事の流儀)	○		12/5
8	12/5	火	職業人として② (プロフェッショナル仕事の流儀)		○	
9	1/16	火	職業人として③ (プロフェッショナル仕事の流儀)	○		1/16
10	2/13	火	一年間のまとめ		○	